

ニュースレター

キラキラ

NO. 169

平成28年3月15日

北九州市

市民活動サポートセンター



大道芸のタベ

～腹の底から笑っていただきます～



だてむすめこのひのころ
伊達娘恋 緋鹿子 (のぞきからくり) の芸を披露する、阿波 八郎氏 (左) と藤田 恵子氏 (右)

第163回 サポートセンターの日 発表団体

■びっくり箱

代表者 阿波 八郎氏

平成15年 4月設立。

のぞきからくり (大型紙芝居)・人形腹話術・口上叩き売り・朗読などの大道芸で、皆を笑顔にすることにより社会貢献を目指す活動をしています。

〒802-0985

北九州市小倉南区志井4-15-35

TEL: 090-3735-9733



活動を始めたきっかけ

幼少のころより、父の浪曲（浪花節）や口上・啖呵などを日常聞き育った阿波さんは、いつの間にか大道芸の世界に足を踏み入れていました。芸を身に付けるだけでなく、いつかこの芸で皆さんを笑顔にしたいとの思いを持ち続け、退職後その夢をかなえるため「びっくり箱」を設立しました。

相方の藤田さんとは、門司港「バナナ塾（バナナの叩き売り口上傳承教室）」の同期生で、団体結成時から、二人でボランティア活動に励んでいます。



これまで、そしてこれからの活動

「びっくり箱」の大道芸の幅は広く、人形腹話術・のぞきからくり（のぞき穴のあいた箱にストーリー仕立ての絵がしかけられている見世物）・相撲甚句（力士が余興的に土俵で歌いそれに合わせて踊ったのが由来）・絵のない紙芝居・じゃんけんゲーム・口上叩き売りなどたくさんあります。

このため、お客さんに合わせた芸を披露でき、子ども向けのイベントや、高齢者施設等の慰問、また各地域のイベント参加など、依頼があればどこへでも参上します。

「今後も、芸に磨きをかけ、レパートリーをもっと増やしていきます。さらに、一緒に活動してくれる仲間も増やしていきたいです。そうすれば、活動の場も広がり、より多くの人を笑顔にできるのではないかと語る阿波さんです。

大道芸でみんなを笑顔に！

定員を大幅に超える参加者で、満員となったサポートセンター。じゃんけんゲームでは勝った人にアダムとイヴのりんご（もちろん冗談です。）をプレゼント。阿波さん・藤田さんの「皆さんを楽しませたい、笑顔にしたい。」との思いが伝わったサポの日でした。



飛び入りで「バナナの叩き売り」の口上を披露してくれた可愛い文化継承者に拍手喝采！！



◆話術の仲間募集中。興味のある方は是非連絡ください。

連絡先：阿波 八郎氏 携帯：090-3735-9733（午後7時まで受付）

◇腹話術会員募集中 講師：藤田 恵子氏 携帯：090-8662-6424

第3日曜 沖田区会公民館（八幡西区沖田三丁目5-3）

市の補助金情報

| 助成金名 | 補助対象 | 補助額 | 提出・問合せ先 | 募集期間 |
|----------------|-------------------------------------|----------------------|------------------|--------------|
| まちづくりステップアップ事業 | 地域の特性を活かした活動や、地域の活性化につながる新たなまちづくり活動 | 上限30万円（補助対象経費の50%以内） | 事業を行う各区の区役所総務企画課 | 4/1～ 4/21 |
| NPO公益活動支援事業 | NPO等が専門性を発揮して行う地域の課題解決につながる事業 | 上限50万円（補助対象経費の50%以内） | 市民活動サポートセンター | 4/1～ 4/28 |

助成金等の情報

| 助成金名 | 分野 | 団体名 | 締切 |
|-------------------------------|---------------|-----------------------------|------|
| 第28回 わかば基金 | 保健福祉 災害 | 社会福祉法人 NHK厚生文化事業団 | 3/31 |
| 第14回 ドコモ市民活動団体への助成 | 子ども | NPO法人 モバイル コミュニケーションファンド | 3/31 |
| 第一生命保険株式会社 第68回 保健文化賞 | 保健・福祉 | 第一生命保険株式会社 | 4/15 |
| 第33回 老後を豊かにするボランティア活動資金 | 保健・福祉 | (公財)みずほ教育福祉財団 | 5/31 |
| H28年度 ヨネックススポーツ振興財団助成金（後期） | 芸術・文化 スポーツ | (公財)ヨネックススポーツ振興財団 | 6/30 |

※詳細はサポートセンターのHPに掲載中。また、当センターの助成金コーナー（ラック）では紙ベースでの情報を提供しています。

NPO法人数・設立申請状況（平成28年2月29日現在）

北九州市内のNPO法人数 312団体



設立認証申請中の団体

◆福岡子ども未来工房 ◆J. I. L. S. A.（日本国際生活支援協会） ◆北九州出会いサポートセンター

※市内に主たる事務所を置くNPO法人数

（市外に事務所があるNPO法人でも、市内に主たる事務所がある場合は、数に含めています。）

NPO法人の総会について その3 ～ 総会の招集 ①

■総会参加者

総会での議決権を持ち召集の対象となる者（NPO法上の社員）は、定款の「会員種別」及び「総会構成」に定めています。多くの法人は、正会員にのみ議決権を与えています。

まず、社員名簿に記載されている社員の資格を確認するため、定款の「会員の資格の喪失」の条件に該当していないかを確認します。特に、一定期間会費の納入がないときには資格を喪失する旨の定めがあるときは、この期間が満了したら通知の有無に関係なく会員の資格を喪失することになりますので注意してください。社員名簿で資格を確認できた社員には、少なくとも総会開催日の5日前までに、招集の通知を出します。

なお、総会で議決権を有するのは、総会開催日当日に社員である者です。NPO法人は、株式会社のように、総会開催日より前に基準日を設け、その基準日に社員名簿に記載されている社員が議決権を行使できる旨を定款に定めることはできません。このため、総会招集通知を発送した後に入会を認め社員となった人も、議決権を持つこととなります。参加者を事前に確定するために、新規入会の同意は、総会後に行うべきです。同様に、総会招集通知後に資格喪失した人は、総会時点では社員ではないため、議決権を喪失したとして取り扱う必要があります。

サポートセンター主催・共催の講座・セミナー情報（無料・要予約）

| 3月 | 時間 | 講座名 | 内容 |
|------------------|-------------|---|--|
| 23(水) | 19:00~20:00 | ◆NPO 法人入門説明会◆ | NPO 法人設立の準備を始めた方向けです。 ※毎月第2・第4水曜日に開催予定です。 |
| 24(木) | 18:30~20:00 | ◆サポートセンターの日◆ | こころが健康であるために ☆みんなでわくわくしてみませんか☆ -NPO 法人 わくわく- |
| 25(金) | 12:00~14:00 | ◆市民活動啓発イベント こと 箏・尺八コンサート & 食を通じた社会貢献 (予約不要) | ・箏・尺八コンサートと箏の演奏体験 ・おいしい輪☆ぶろじえくと ・フェアトレードの紹介 *フェアトレード コーヒーの試飲とクッキーの試食あり。 会場：コムシティ3F マーメイド広場 |
| 4月 | 時間 | 講座名 | 内容 |
| 13・ 27 (水) | 19:00~20:00 | ◆NPO 法人入門説明会◆ | NPO 法人設立の準備を始めた方向けです。 ※毎月第2・第4水曜日に開催予定です。 |
| 28(木) | 18:30~20:00 | ◆サポートセンターの日◆ | 黒崎の街にホテル復活 -ラブリバー撥川ネットワーク- |

【市民活動団体の方へお知らせ】 団体登録すると、以下のようなことができます。

- ◎大判プリンターの利用（ポスター：最大A1サイズ、横断幕：幅609mm×最長18m）＊有料
- ◎印刷機の利用（製版32円、印刷0.2円／枚 ※紙は持ち込み）
- ◎サポートセンター及びムーブサテライト内でのチラシ掲示、メールマガジン（毎週金曜日発信）への掲載。＊その他、ミーティングスペースの貸し出しなど、活動にご活用ください。

◆北九州市市民活動サポートセンター

〒806-0021 北九州市八幡西区黒崎三丁目15-3コムシティ3階
TEL 093-645-3101 FAX093-645-3102

- ◆NPO法人に関する相談・申請受付（要予約）、NPO・市民活動等に関する相談、印刷機等の利用（要登録）など
- ◆ご利用は、月曜日～土曜日《10時～21時》
日曜日・祝日《10時～19時》
（毎月第1・3・5月曜日及び年末・年始休館）

◇北九州市市民活動サポートセンター・ムーブサテライト

〒803-0814 北九州市小倉北区大手町11-4 ムーブ1階
TEL 093-562-5309

- ◇NPO法人に関する相談・申請受付（要予約）、NPO・市民活動等に関する相談、印刷機等の利用（要予約・登録）など
- ◇ムーブサテライトには、火曜日と金曜日以外は、職員がおりません。
利用に関する詳細は、ホームページをご覧ください。か、電話やメール等でお尋ねください。

HP（キラキラネット）<http://www.kirakirakita.jp>
メールアドレス support3@axel.ocn.ne.jp

📝 編集後記

中2の娘と桜餅を食べながら…。

「(娘が) 小さいころは、ママも何回か作ったんよ。覚えてとう？」と聞くと「知らんし」と一言。

そういえば、色の加減が分からず、最初は薄すぎ、翌年はショッキングピンクに近い「桜？餅」になったことを思い出しました。

覚えてなくて、よかった！三度目の正直。今度こそ出来るかな？

桜色の桜餅に(*^_^*)
by うらら